
ネコの旅

～ ショウカ ～

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ネコの旅

【Nコード】

N3175D

【作者名】

くしよウカく

【あらすじ】

ネコが旅に出て何かを学んでいくお話です。

（前書き）

ある方に捧げたくて前向きに生きてほしいと願って書きました。見
てくれるといいなあ
：

僕は気ままな猫

生まれて10年たち

ある日旅に出た

旅に出てから僕は

素敵なメス猫に出会った

そのメス猫は 毛並みが綺麗で性格もよかった

僕はカノジヨに好意をもってしまった

その日をさかえに

カノジヨに会いに

家に通い続けた

カノジヨも僕に興味をもってくれたみたいだった

もおそろそろ告る

予定だった

次の日にカノジヨの家に
つくやいなや

そこには
弱そうなおス猫がいた

カレはメス猫の友達だった

僕はホツとして
告りにいこうと近よった

だが

カレの様子が
なんだかよそよそしいのに僕は気付いた

そしてカレは
僕の目の前で
カノジヨに告ったのだ

カノジヨの答えは
『私も好きでした』と
のことだった・・・

僕は絶望した
この状況を見て
この場にいたくなくて

逃げだした

逃げている途中で

目の前の景色が

ゆがんだ

ゆがんだと思いきや

目の前の景色が一瞬で

変わった

僕は逃げてる最中

途中でこけて

仰向けになり

意識を失ったのだ

気絶していた時間

僕は何の夢を見ていたのだろうか？

考えなくとも

悲しかったのだろうという感覚が頭の中で残っていた

起きたころには朝で

カノジョのことを思いだし涙を流していた

これは失恋なのだろうか？思いをつげずに逃げた自分

まだ『好き』だという気持ちは捨て切れない

あの時に思いをつげていれば何か変わったのかな？と思い返してしまっ

思い返しても

この状況はかわらない

だけど

そんな考えが頭の中でぐるぐると駆け巡る

駆け巡ったすえ

僕は このままではいけないと気付いた

前に進まなくてはと思ったのだ

僕は

自分の思い通りにはうまくいかないものだ
初めて学んだ

旅をすると
いろいろと体験する
それがいい経験になる

まだまだ旅は
始まったばかり

淡い初恋を
思い出にして

僕は旅を続ける

E
N
D

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3175d/>

ネコの旅

2010年12月4日23時20分発行